

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No.24

2022年
3月23日

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-6-9

DIK 麹町ビル 704 号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

社会民主主義フォーラム第2回総会

地域の党組織を充実させ参議院選挙勝利へ

3月13日（日）午後2時から社会民主主義フォーラム第2回総会が開催され、フォーラム結成県を中心に18都県2団体から70名が参加しました。総会では活動計画など提案された議案を承認し、参院選勝利に向けた決意を固めあいました。

●議長挨拶／羽田圭二世田谷区議会議員

都議選では5人から15人へ躍進。政策課題では労働者や現場の声を国会に反映させることが必要。森屋参院議員（私鉄）の、会社の赤字についても「公共の責任」が問われるという指摘、こうした立場や考え方を前進させることが大切だ。

●代表挨拶／吉田忠智参院議員

戦争・テロ・民主主義の危機、感染症の危機、気候変動の危機の時代。敵基地攻撃など宏池会だが危険な岸田内閣を倒そう。予算案の賛成は明確な与党。国民の動向を見定め野党共闘の再構築を。参院選での山さんの当選と自治体選でのプラス1を。

●代表挨拶／高田良徳香川県議会議員

立憲民主党を選択し総選挙や日常活動など努力してきた。党の文化の違いもあり各県・地区で困難さを抱えてきたが、あらゆる機会を通じて党の取り組みに参加し私たちのメンバーを増やすことが大切。党内で頼りにされる存在になるよう頑張ろう。

●各県からの報告

・茨城／飯田事務局長

3月末の県連大会では党の地域組織の強化、ボトムアップと意見反映の課題について発言したい。党名だけでは当選できず地に足つけた運動が必要。



・香川／小島事務局長

支援労組を大切に運営してきた。年4回政策討論集会を開催しニュースは月1回発行。フォーラムの活動は評価を得てきたが比例選挙の対策が課題だ。

・島根／奥迫代表

山本ほまる副代表が5月の江津市長選挙に挑戦する。交通・医療など地域政策の充実、地域でのフォーラム作り、労組との連携強化が課題となっている。

・佐賀／徳光事務局長

会員拡大に取り組んできた。総選挙ではフォーラムについて「すごいね」という評価に変化。平和、原発課題など年3回の政策セミナー開催を目指す。

・千葉／兼古事務局長

総選挙では今までの立憲メンバーと一緒に行動を意識した。指示や方針は下りず主体性が問われた。参院選挙では労組と一緒に行動できるよう努力。

・埼玉／川村事務局長

毎月ニュースを出し、国会議員や県会議員などに問題提起お願いしその内話を掲載している。今後参院選候補者の決意や枝野前代表の寄稿も掲載する。

・栃木／松本代表

昨年12月に結成。月1回の学習会とニュース発行を行い、学習会では県連の松井幹事長を講師に招いた。「社会民主主義とは何か」などの研究の場を。

・岩手／野中事務局次長

党の行政区支部など組織づくりや各県の財政作りな



どの経験交流の場を。党代表選挙は誰を推すのか打ち出すべきではなかったか。議員の拡大を。

・富山／岡崎代表

党内で信頼を得て、「フォーラムはちょっと違うな」という存在感を示し発揮していくことが大切。自民王国だが参院選で山としひろさん必勝へ頑張る。

・大分／守永副代表

平和運動センターも立憲支持を決定し運動を継続。党県連として各地域に「みなし支部」を作り活動を進めていく。フォーラムは学習を中心に取り組む。

・宮城／辻事務局長

各地区に護憲平和センターを作り活動。平和労組会議などと政策交流集会を開催。ALPS処理水問題等の取り組み。松島町で初めて議員を誕生できた。

・山形／遠藤事務局長

フォーラム地域支部を結成。総選挙は残念な結果。平和センターと共催し市民にも呼びかけ前川喜平さんの講演会を開催し社民主義の大切さを実感。

・宮崎／岩切代表

フォーラムや立憲の地域組織の確立に財政面の協力が不可欠だ。ぜひ中央で働きかけを強めて欲しい。議員負担に頼る運営を改善することが大切。

・秋田／工藤事務局長

課題や運動は可能な限り立憲で扱うよう努力してきた。県内に500基ある洋上風力発電の問題が浮上。原

発と同じ構図と問題が持ち込まれている。

・福島／渡辺事務局長

財政問題の整理が課題。しかしこの1年間会員拡大に取り組みを300名近くまで拡大達成。参院選までに統一選候補者を決定し何としても議員増を。

・青森／原子事務局長

規約の問題はあるが地域の行政区支部の設置をいくつか進めてきた。政党の作風は違うが、焦らずいかに地に足をつけた活動を進められるか課題。

●参院選決意表明／

山としひろ 富山選挙区予定候補

選挙まで90日余り。右寄りで偏狭なナショナリズムが進み、厳しい風当たりを感じるが、おかしなことは批判して徹底的にやっていく。自民党の岩盤である富山を含め1人区のたたかいが大きな意味を持つ。全国から温かい支援を。



●決議案採択と吉田代表のまとめ

総会では「ロシア軍の軍事侵攻を糾弾し、ウクライナからの撤収を求める決議」を採択し、最後に吉田代表からまとめの発言を受けました。

①社民主義政策の研究や推進、会員拡大などフォーラムの運動強化を目指そう。

②フォーラムへの理解は進んできたが、地域組織や財政など党のあり様が問われている。党員の継続制度など改善が必要となるのではないかな。

③参院選にむけ早期の候補者擁立と山としひろさんの勝利を目指そう。切磋琢磨し相乗効果を高め自治体選勝利へ。

2022年活動計画（項目のみ抜粋）

1. 組織の強化

(1) 地方組織の活動支援 (2) 会員登録の完了・会員拡大・空白県への対応 (3) 労組・平和フォーラム等との関係強化

2. 情報提供・研究活動・相互交流の促進

(1) 立憲民主党に関する情報の提供 (2) 「全国通信」の発行体制の強化 (3) インターネットを利用した情報発信の検討 (4) 資料や定期刊行情報誌発行の検討 (5) 「全国交流会」開催の検討 (6) 分野ごとの研究活動のネットワーク化

3. 立憲民主党を支える活動の強化

(1) 立憲民主党の地方組織の確立 (2) 立憲民主党への意見反映 (3) 2022年参議院選挙 (4) 2023年統一自治体選挙を始めとした地方選挙

4. 2021年下半期の活動で掲げた「検討事項」等の具体化

(1) ブロック協議会設立に向けた準備 (2) 政策セミナー (3) 各種PTの起動